

マチトビラ 組織概要 説明資料

地域 × 若者 × 挑戦 = 仕事づくり × 担い手づくり



マチトビラは鹿児島を支える企業様の更なる発展のお手伝いと、これからの社会をリードする優秀な若手人材の育成を目指しております。



マチトビラ

代表 末吉剛士

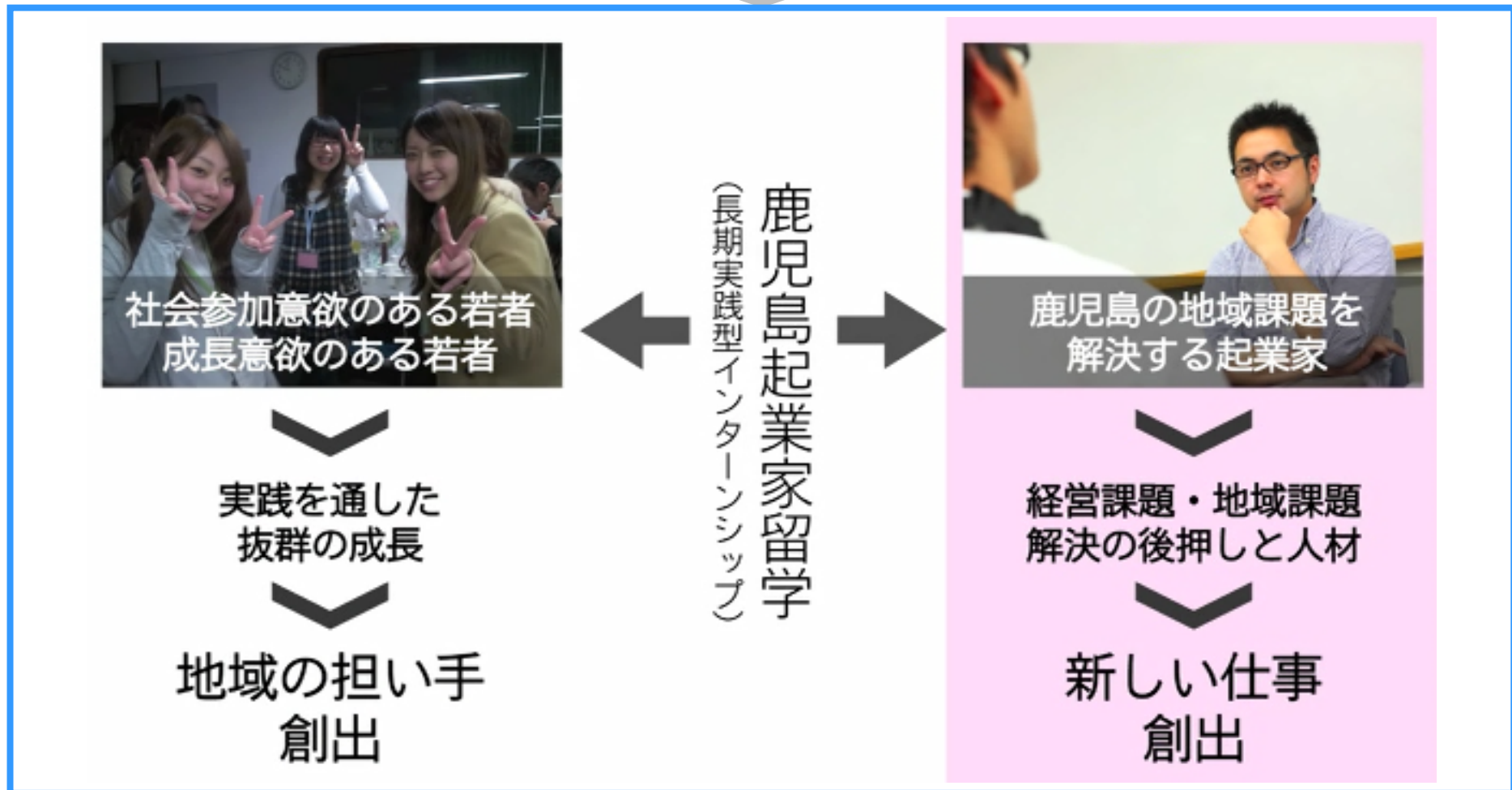
TEL:099-216-8115

E-mail:info@machitobira.org

<http://machitobira.org>

マチトビラとは？

鹿児島起業家留学と称した「長期実践型インターンシップ」を運営する団体です。経営支援と若者のキャリア支援を行なっています。



鹿児島起業家留学の特徴は？

鹿児島起業家留学は「長期」かつ「実践的」な「企業と学生双方にメリットのある」インターンシップです。

	従来型のインターン (短期体験型)	鹿児島起業家留学 (長期実践型インターンシップ)	
期間	数日～2週間	短期：1～2ヶ月 (長期休暇時)	長期：3～6ヶ月 プロジェクトごとに 随時スタート
内容	会社見学 職場体験	プロジェクトの 一部を担当	プロジェクトの 全体を担当
受入団体	大手～中小企業 行政など	「志のある」「チャレンジに溢れる」 中小企業やNPO法人など	
担当者	人事部や 現場スタッフ	経営者や プロジェクトリーダー	
立場	研修生 (お客さん)	プロジェクト アシスタント	プロジェクト スタッフ
企業の期待	社会貢献 採用の一環	課題解決 プロジェクト目標の達成	
得られること	職場の 雰囲気を知る	企業：事業推進・課題解決の足がかり、社員のモチベーション向上 若者：実践を通じた抜群の成長、人生の師匠との出会い・繋がり	

なぜ鹿児島起業家留学をしているの？

現状

変化と混迷の時代の中、課題・不安が増加・多様化。
「じゃあ、どうするか？」という挑戦が多く場面で見られる。

鹿児島にも沢山の課題と、素晴らしい挑戦者がいる。
どこの現場でも「挑戦する人」が不足している。

そこで

挑戦する企業や人の後押しをしたい！
挑戦者を増やす仕組みを創りたい！

- ・ 挑戦を続ける企業の志や事業を、高い成長意欲を持つ若者に伝え、関わる機会を提供する。
- ・ 若者に、人生の師匠となるような魅力的な大人の元で、実践を通して学べる機会を提供する。
- ・ 企業に、魅力的な事業の発展を促進する若手人材を提供する。

将来像

変化を楽しみ、常に“より良いもの”を生み出す人や企業に溢れた社会の実現。

インターンシップ生は具体的にどんなことをするの？

企業様それぞれの、“経営理念達成に向けた経営課題”や
“新しくチャレンジしたいこと”に応じたプロジェクトを担います。
(特に「やりたいけれども、まだやれていないこと」)

広報



企画



販促



その他、社長のカバン持ち、営業、イベント集客、マーケティング業務、新商品開発、新規事業の立ち上げ、PR、社内活性、など・・・企業様1社1社にとって「かゆいところに手が届く」そんなインターンシッププロジェクトを設計いたします。

これまでの実績は？

これまでに**106名**が鹿児島起業家留学に参加、
東京・福岡など都市圏の大学生や既卒者も参加しています。

106名

鹿児島起業家留学でインターンシップを行った若者の人数

8校

学校数（5都道府県）

鹿児島大学、鹿児島国際大学、志学館大学、
早稲田大学、青山学院大学、久留米大学、
岡山理科大学、JAPANスポーツカレッジ

33社

インターンシップ受入企業総数

インターンシップ生の募集を行う段階では、県内約1,000名の若者（大学生中心）にリーチ、その中から選びぬかれた人材のみをご紹介します。

企業様にとっての価値

新規 挑戦

新規プロジェクトにチャレンジできる

新しいプロジェクトに取り組むには、意欲の高い人材が必要。

高い成長意欲を持ち、自らの行動で事業と自身双方の成長を目指す若者が取り組むことで事業の発展につながります。

自社の現状が分かる

外から来た者の目線が入ることで自社の商品、サービス、仕組みなどの**よい点・改善点が明確に、または再確認**することができます。

また、社内では気づかなかつた**新たな魅力の発見や広報の切り口を知る**ことができます。

教育力が向上する

“やる気や勢いに溢れるが経験・スキルは足りない”若者であるからこそ、彼らに仕事を教え身につけさせていく過程で、**どの様なハードルを与えれば社員の成長を加速できるのか、などを実践的に学ぶ**ことができます。

若手社員のマネジメント能力が向上する

インターン生は何も知らない若者です。彼らと仕事をする中で、**若手社員が仕事の振り方や進捗管理の方法を実体験として身につけ、また入社当時の志を思い起こす機会となり、その後の自身の仕事に活かす**ことができます。

社内環境の活性化

元気で成長意欲の高い若者が職場に入ります。

素直な目で業務を見て、新しい知識を貪欲に吸収する若者の存在は**社内の新しい刺激になり、職場の空気を明るく**します。

素直に楽しい

一所懸命がんばって四苦八苦しながらも成長していく若者の姿は、とても素晴らしいものです。その成長を引き出す体験は、経営者に**最高の喜びや勇気**を与えてくれます。

課題 解決

社内 活性

成長

達成感

仲間

学生時代に行く最大の理由

- 将来やりたいことの明確化（キャリアプランニングのきっかけ）
- 将来への目標設定
- 学習意欲の向上
- 教育・研究と実社会の結びつきを理解する
- 家族・友人でも先生でもない、第3の関係性の強化
（人生のロールモデルとなり得る大人とのナナメの関係性構築）

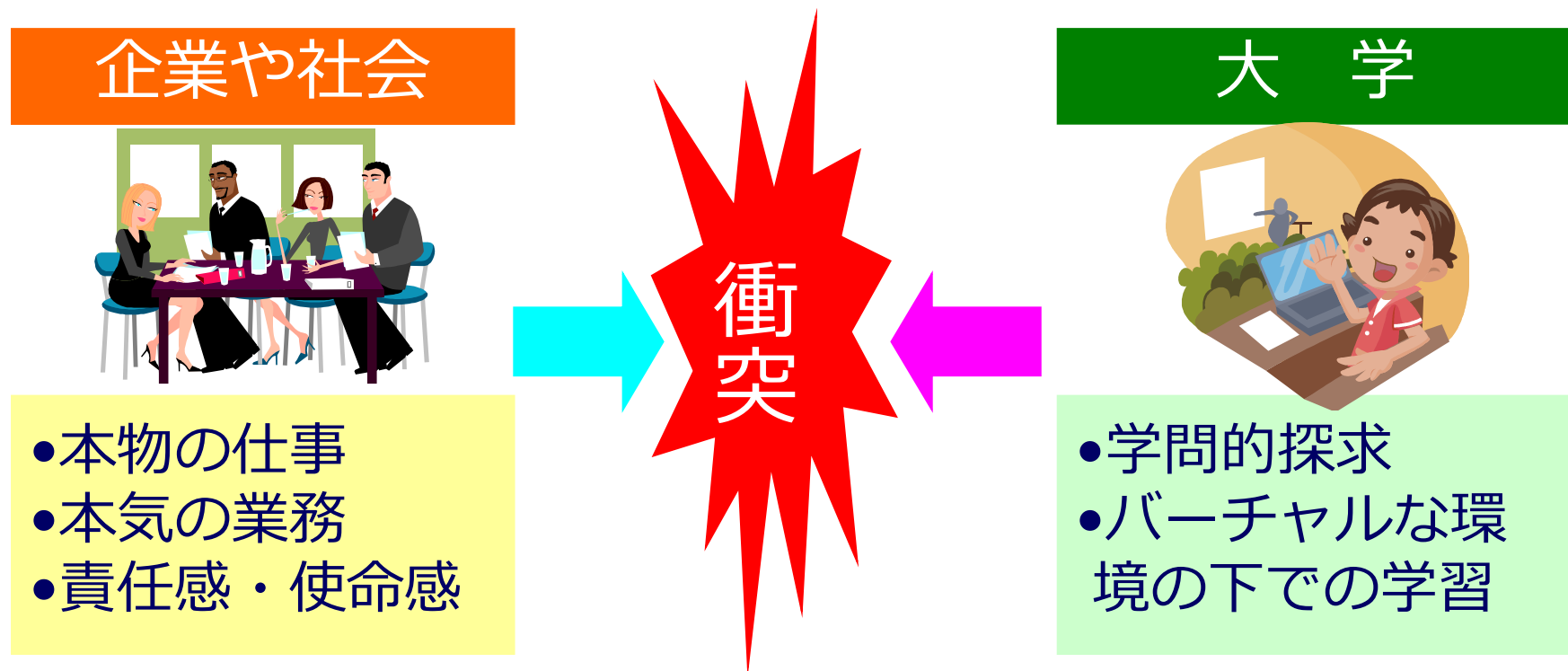
実体験を通じた思考、協働、行動の能力の強化

ただし・・・

- ・ 相当な覚悟と気合と時間
 - ・ 濃密な人間関係
- ・ 厳しい壁（成長の機会）

が必要です。

コーディネーター（マチトビラ）の役割は？



□ インターンシップコーディネーターとは

① 企業と若者双方にとって高い価値やメリットが出るよう、

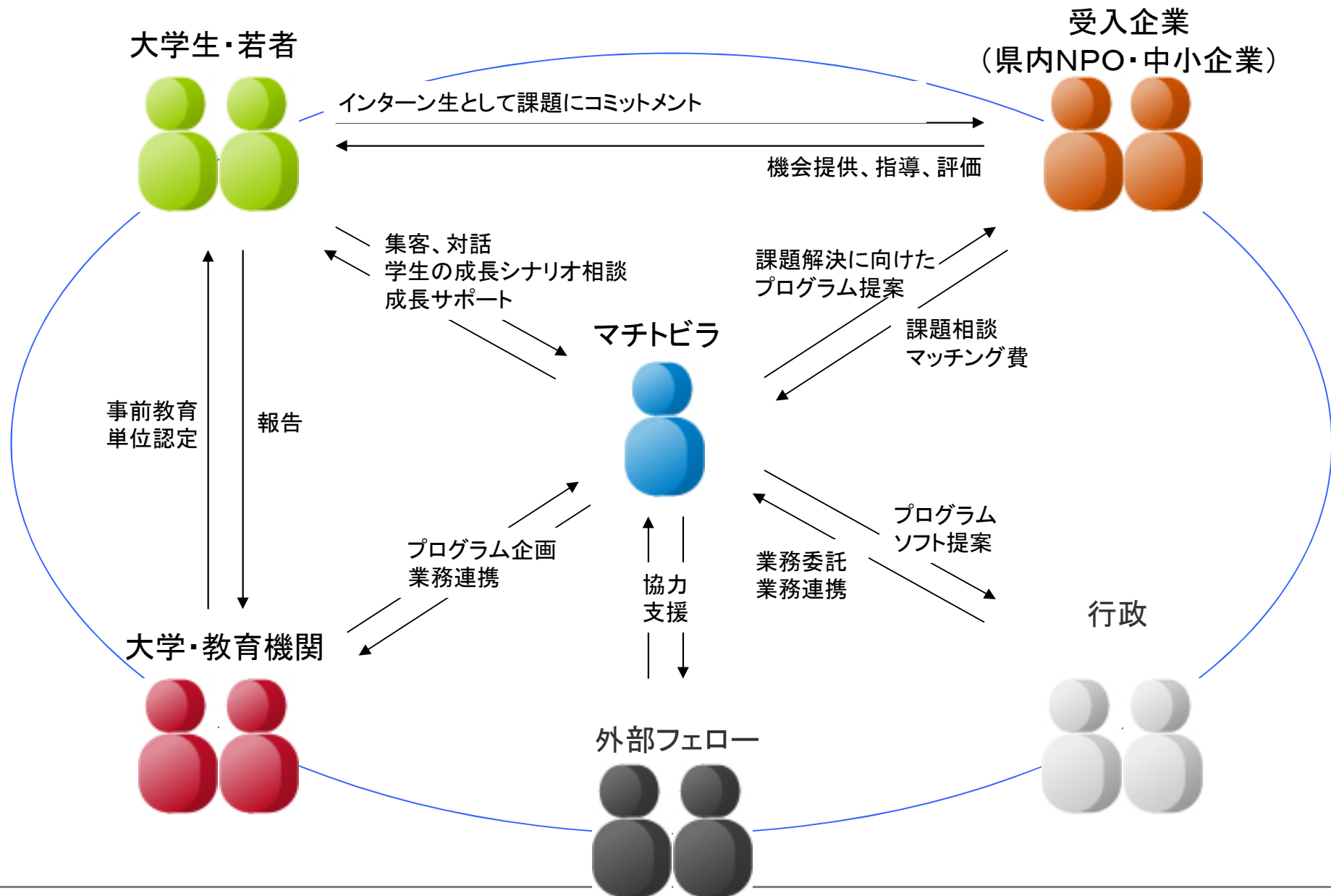
プロジェクトを設計・運用・評価する

② インターンシップを実施するための**環境整備や調整を行う**

③ インターンシップ期間中の**サポートを行う**

主に上記のような役割を担います。

スキーム図



(考) 鹿児島起業家留学の様

<p>大学での 明会や相 会</p>	<p>イベントや面 による企業と若者の マッチング</p>	<p>若者を後押しする 集合研修</p>	<p>経営課題を解 する 長期実践型 インターンシップ</p>
<p>鹿児島大学</p> 			<p>広報</p> 
<p>鹿児島国際大学</p> 			<p>企画</p>  <p>鹿児島で若者の学びの場のコミュニティを創出! 前社団法大 鹿児島県文化協会研究 研 Ten-Lab</p>
<p>志学館大学</p> 			<p>販促</p> 

(参考) マチトビラの組織概要

■ 名称: マチトビラ(任意団体)

■ 設立: 2011年4月1日

■ 資本: 150万円

■ 設立経緯:

2010年度、マチトビラ代表 末吉剛士は、前職のNPO法人ネイチャリング・プロジェクトにて内閣府・地域社会雇用創造事業の運営を担当しました。その中で、鹿児島における「担い手作り仕事作り」の必要性を強く感じ、同時に解決策として「実践型インターン事業」のポテンシャルの高さを感じました。この事業を継続し、より強化していきたいと思い立ち、2011年4月1日起業にいたしました。

■ 目指すもの:

弊社は、鹿児島の魅力・資源を収集・編集・発信・マッチングし、「それいいね!」と言われるような“多くの方に望まれる理想”と「やってみよう!」と言えるような“課題を解決するアプローチ”を繋げるトビラとなり、持続可能な地域活性を行います。

また、鹿児島を支える企業様の更なる発展のお手伝いと、

これからの社会をリードする優秀な若手人材の育成を目指しております。

(参考)マチトビラの組織概要

■私たちのミッション

< 経営支援 >

企業に、
経営者とく り合える当事者意識の高い若手人材や、 国 の魅力的な挑戦者との を
提供することで、社 それ れが入社当時・創業当時を思い出せる機会を生み、社会の変化に
する組 づくり・経営理 達成への手 えを に探り、後 に って される企業になる
お手伝いをします。

< 人材育成 >

若者に、
「はたらく」に向き合う機会や、ロールモデルとなり得る大人との関わりを、他にはない ど
濃く提供することで、仕事で カ する感覚や、生 を支える 体験、自 を する
気 を得られるようにし、彼らが挑戦を しめる と体力を持ち、社会から期 される人材と
なるお手伝いをします。

(参考) マチトビラの事業概要と実績

■事業概要／実績

▽長期実践型インターンシップの企画・運営

- ・2011年4月～2012年3月：内閣府・地域社会雇用創造事業の一環として地域事務局を担当
- ・現在までに106名の若者が、33団体の受入先にてインターンシップを実施。

▽キャリア教育プログラムの企画・運営

- ・志学館大学 非常勤講師(キャリア開発演習Ⅰ・Ⅱ)
- ・鹿児島国際大学 外部講師(教養特講Ⅲ)
- ・鹿児島大学 非常勤講師(実践キャリアデザイン)(2013年度～)

▽中小企業・NPO法人向け経営支援

- ・2012年7月～2013年3月：鹿児島県 新しい公共事業の一環として、かごしま寄附募集支援事業を実施。鹿児島県内NPO約30団体の寄附募集支援や、寄附に関するセミナー、啓蒙活動、プロボノ支援などを行う。
- ・Greenz.jpのローカルライターとして、鹿児島のグッドアイデア、グッドトピックスを発信中。

▽イベント・ワークショップ等の企画・運営

- ・社会人と学生の交流会、キャリア・デザインワークショップ、ファシリテーション養成講座などを開催。

(参考)組織体制



・末吉剛士(代表)

鹿児島出身32歳／立命館大学卒／学生ベンチャーでの中古書業、環境系フリマガ「サステコ」の発行、(株)リクルート勤務を経て鹿児島にUターン。NPO法人ネイチャリング・プロジェクトにて企業支援、人材育成を行ったのちマチトビラを起業。



・石川世太(事務局長／ファシリテーター)

環境・地域活性の分野でサラリーマンの後、現在は小学校の先生の勉強中。そのかたわら、プロファシリテーター、よりよい社会に向かうためのワークショップの実施など精力的に活動中。延べ約16,300人、350時間の場をコーディネート。元環境系NGOの代表理事。

1～2週間程度の短期のインターンシップ（就業体験）に飽き足らず、休暇などを利用して長期インターンシップに取り組む学生がいる。鹿児島市のNPOが開催する「鹿児島起業家留学」

鹿児島

では、若い力を活用して新たなプロジェクトに取り組みたい企業と、お金では得られない「何か」を求めている学生の利益が一致。互いの相乗効果が期待される。（永井貴士）

長期就業体験に脚光

企業＝若い力活用し新企画



笑顔の接客を心掛ける池元万葉さん（奥）

＝鹿児島市東谷山2丁目

「成人式ときの写真は何回も見るぞうですよ」「いい表情です」。パソコンに映し出された100枚以上の写真を一枚一枚比べながら約30分間、写真撮影を終えた相手に話しかける。営業や接客業に興味があった志學館大学2年

の池元万葉さん(20)は鹿児島市東谷山2丁目の写真館で、10月上旬までの2カ月間働いた。

夏休みや学業の合間を利用して週に3日ほど、写真選びや撮影アシスタント、営業用パンフレットの作成に携わっ

学生＝お客さま扱い、脱却

今年2月から1カ月間、枕崎市の水産加工会社の製品を手

に、ホテルへの営業活動や

に物足りなさを感じ、起業家

留学に参加した。

期間の短さを指摘する。インターンシップに積極的に学生を送り出す鹿児島国際大学の

シエフリー・アイリッシュ准教授(51)は「挑戦できる期間が長ければ、学生ならではの

行動力、柔軟性、企画力が生

かせる」。

今年2月から1カ月間、枕崎市の水産加工会社の製品を手

に、ホテルへの営業活動や

に物足りなさを感じ、起業家

留学に参加した。

期間の短さを指摘する。インターンシップに積極的に学生を送り出す鹿児島国際大学の

シエフリー・アイリッシュ准教授(51)は「挑戦できる期間が長ければ、学生ならではの

行動力、柔軟性、企画力が生

かせる」。

今年、水産加工業やホテルに起業家留学した学生らは、かつお節のたし奥深さを紹介する「だしガール教室」、指宿市の温泉や食の魅力を凝縮した3万円豪華指宿プランなどの企画に携わった。受け入れた各企業からは「他の社員の刺激になった」「新規事業を推進できた」と歓迎の声が聞かれた。

起業家留学を主催して2年目の鹿児島市のNPO団体「マチトコロ」では、今夏に5大学23人を県内15企業に送り出した。末吉剛士代表(31)は「地域や企業の抱えている問題を、学生と一緒に解決することで、産学連携につながれば。起業家のように挑戦する意欲、自分で世界を切り開く力を身につけて、地域社会に貢献できる人に育ってほしい」と期待した。

た。無給だが、「仕事に心から向き合える。相手の家族になったように、一緒に宝物を作るつもりで接客するようになった」と池元さんは言う。

店頭販売に汗を流した。同市の活性化も目指す経営者の熱意に心を動かされた。「利害関係のない大学生なら、やろうと思えば何でもできるはず」と妹尾さん。イベントサークルを立ち上げ、自分の経験を講演するなど学生生活に変化が出てきた。

